「在り方（2024）」の具体化に向けたシステムワークフロー検討作業部会の活動

これからの学術情報システム構築検討委員会
システムワークフロー検討作業部会主査
飯野勝則（佛教大学）

はじめに

- 「これからの学術情報システムの在り方について（2024）」（以下「在り方（2024）」）は、2024年2月に、「これからの学術情報システム構築検討委員会」（以下、「これから委員会」）により公表された文書です
- これから委員会の傘下にある「システムワークフロー検討作業部会」（以下、「システムワークフロー部会」）の活動は、本文書の「活動目標」を具体化すべく行われています
- ここでは、本年度のシステムワークフロー部会の活動について、本文書の「活動目標」と「ユーザーグループ」とのかかわりを中心に報告させていただきます

「在り方（2024）」とは？

2024 年 2 月 6 日

これからの学術情報システム構築検討委員会

これからの学術情報システムの在り方について（2024）

はじめに

「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下に設置された「これからの学術情報システム構築検討委員会」（以下「本委員会」）は、その基本方針と短期の実現目標を提示した「これからの学術情報システムの在り方」を 2015 年と 2019 年に公表し、電子情報資源のデータ管理・共有のワークフローの検討及び統合的発見環境の実現に取り組んできた。

学術情報システムを巡って、大学等の図書館（以下「図書館」）は、さらなるデジタルトランスフォーメーション（DX）の促進による利用者サービスの向上や業務効率化が求められている。これに対応するため、図書館は、自ら資料をデジタル化し、他者のデジタル化を支援する

- 今後構築すべき学術情報システムに関する、「これから委員会」の「ビジョン」、「活動目標」、及び「検討体制」などをまとめたものになります

ユーザーグループとは？

- 学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を推進するために、「意見や情報の交換」、「共通課題の解決」、「人材の育成、能力開発」などに関わる活動を行うため、「Discord」と呼ばれるSNS上に設置されているグループ（コミュニティ）のことです
- ユーザーグループは、「ユーザーグループ運営作業部会」（以下、「ユーザーグループ部会」）によって運営されています

ユーザーグループ（discord)の画面イメージ

Discordより引用

システムワークフロー部会の「班」とユーザグループ

① ILL・電子ブック班

② 目録・メタデータ班

③ 図書館システム整備班

④ デジタルアーカイブ班

それぞれの班が、
ユーザーグループと連携

□【運用・管理支援】ERDB-JP 運用作業班

システムワークフロー部会は、活動対象が多岐に及ぶことから「班」を設置し、それぞれの班長を中心に半ば独立した活動を行っています

「在り方（2024）」の「活動目標」と課題

「在り方（2024）」の「活動目標」（2026年まで）

1. 図書館システム・ネットワークの機能強化
   - メタデータの共同利用システムへの集約
   - 統合的なデータベースの構築と図書館システムとの連携
   - 次世代検索サービスの検討と実現
2. システムの共同調達・運用の支援
3. オープンなメタデータ交換の推進
4. メタデータの多様化に対応できる人材の育成
5. 学術情報資源の把握と共有

「活動目標」の具体化を主管する作業部会

- 「1.図書館システム・ネットワークの機能強化」、「２．システムの共同調達・運用の支援」、「３．オープンなメタデータ交換の推進」はシステムワークフロー部会が主管しています
- 「４．メタデータの多様化に対応できる人材の育成」はユーザーグループ部会が主管します
- なお「５．学術情報資源の把握と共有」は、これから委員会が「在り方（2019）」などに基づいて活動してきた内容の延長線にあり、「オープンなメタデータ交換の推進」の推進や関係機関・部署との連携によって実現される内容のため、現在のところ主管する作業部会を置くものではありません

「活動目標」達成のために

- システムワークフロー部会の考える機能やサービスが、多くの大学図書館にとって、積極的に受容されうるものになることが必要となります
- そのためには、個々の大学図書館における課題を共有し、より現実に沿った形で目標を達成するための方策を設計することが求められます
- そのほか、システムワークフロー部会が構築した機能やサービスが、個々の大学図書館において十分に周知・理解され、活用されることも重要です

本年度は、これらの問題意識を背景に、ユーザーグループを積極的に活用する方向で活動を推進しています！

システムワークフロー部会の活動とユーザーグループ

Ⅰ．図書館システム・ネットワークの機能強化

- 「ILL・電子ブック班」と「目録・メタデータ班」が活動の主体
- 「電子リソースデータ共有サービス」を構成するサブシステムとして、2024年5月24日に「タイトルリスト（JUSTICE）」、2024年9月30日に「電子ブックメタデータ（国内）」の正式運用を開始
- 2024年10月31日より「NCR2018対応コーディングマニュアル」・「目録情報の基準第6版」の適用を開始
- 次期ILLの考え方や、NCR2018適用の課題などを整理するため、ユーザーグループを活用し、オンラインイベントや意見募集を実施
  - 2024年5月31日「 ILLトーーーク！#2」
  - 2024年9月　　NACSIS-CAT各種資料取扱いマニュアル改訂案の公開

２．システムの共同調達・運用の支援

- 「図書館システム整備班」が活動の主体
- 2024年4月に、これからの図書館システムにとって、必要となると考えられる要件をまとめた「図書館システムガイドライン（案）」をユーザーグループ上で公開
- これに加えて、図書館システムベンダーに対しても「図書館システムガイドライン（案）」に関するアンケートを実施
- 本年度中に、正式版を公開する予定

３．オープンなメタデータ交換の推進

- 「デジタルアーカイブ班」が活動の主体
- 各学術機関のデジタルアーカイブのメタデータを集約し、ジャパンサーチへと流通させるための仕組みづくりを検討
- 本年度はデジタルアーカイブを構築し、運用している機関から、メタデータ流通に関する意見を集約すべく、ユーザーグループを活用しており、オンラインイベントを定期的に実施
  - 2024年5月21日　「デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会 #1」
  - 2024年7月25日　「デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会 #2」
  - 2024年9月30日　「デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会 #3」
  - 2024年11月22日「デジタルアーカイブ×メタデータ勉強会 #4」

【参考】図書館総合展でのユーザーグループイベント（オンラインイベント）

- 【図書館システム整備班】 【終了】
  - 2024年11月18日(月)10:30-12:00

  図書館システム・ネットワーク ユーザーグループイベント (1)図書館システムガイドラインの現状について

- 【目録・メタデータ班】
  - 2024年11月19日(火)14:00-16:15

  ポイント解説！：NCR2018対応 セルフラーニング教材 / 図書館システム・ネットワーク ユーザーグループイベント (2)みんなで目録の夢を見る

【参考】図書館総合展でのユーザーグループイベント（オンラインイベント）

- 【ILL・電子ブック班】
  - ➢2024年11月20日(水)10:30-11:30

  図書館システム・ネットワーク ユーザーグループイベント (3)次期ILLシステムに求める機能の整理

- 【デジタルアーカイブ班】
  - ➢2024年11月22日(金)10:30-12:00

  図書館システム・ネットワーク ユーザーグループイベント (4)デジタルアーカイブ ×メタデータ勉強会 #4

おわりに

- ユーザーグループは、システムワークフロー部会にとって「在り方（2024）」が目指す世界を実現するための意見交換・意見聴取、情報共有において、大きな意義を有していると考えます
- 本部会を代表する者として、ご参加いただいている皆様に深く感謝申し上げる所存です
- なお、ユーザーグループそのものの具体的な活動内容については、ユーザーグループ部会の安達主査による発表を参考にしていただければと思います

ご清聴ありがとうございました